

新年、あけましておめでとうございます。大田区商店街連合会の皆様におかれましては、新たな年を健やかに迎えられたこととお慶び申し上げます。昨年末は、コロナウィルスの感染状況もだいぶ落ち着き、東京においても緊急事態宣言が解かれ、経済も急速に動き出してまいりました。それに伴い、昨年の暮れから今年にかけて、半導体不足や原油価格の高騰、輸入部品の遅延等々、様々なところで区商連の皆様も大変な思いをされていることとお察し申し上げます。この長いコロナ禍の期間、大田区の商店街においても、飲食店への補助金の支給等ありましたが、まだまだ商店街全体としての景気は戻っておらず、多くの商店街では依然として、必死にお店を維持する状況が続いております。新年早々、少々暗いお話で申し訳ありませんが、ひとつ嬉しいニュースもありました。先日、あるネットの記事で見かけましたが、「京浜東北線沿いで住みやすいと思う街はどこ？」として、沿線に住んでいる人々にアンケートを取ったところ、買い物のしやすさ、交通の便、そして治安の良さという点で、1位に蒲田、2位に大井町、3位に大森がランクインしました。蒲田と大森は、いずれもベスト3に入り、なんと蒲田は全36駅中、見事1位に輝きました。ますます注目を浴びている大田区。今後も東京のトップランナーとして、なお一層頑張らなければなりません。

今年寅年、それも「壬寅（みずのえとら）」です。壬寅は、『陽気を孕み、春の胎動を助く、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年になる』ことを示唆します。昭和37年、今からちょうど60年前の壬寅の年。東京では首都高速1号線が開通し、また同じ年、東京タワーが完成しました。戦後、日本の復興を支えた象徴とも言える東京タワー。60年経った2022年の現在でも、変わらずその明るくパワフルな立ち姿は、私たちにたくさんの元気を与えてくれます。同じ壬寅の今年こそ、長きコロナ禍という厳しい冬の時代を乗り越え、春の暖かい風が吹く気がしてなりません。

昨年末の話ではありますが、長きにわたって中止や延期に追い込まれていたJR蒲田駅西口広場のイベントが、1年以上の我慢・忍耐の時を経て、久しぶりに開催されました。コロナ禍以前では、当たり前であった光景。屋台で美味しそうにご飯を頬張り、嬉しそうにビールを飲む人々。広場に聞こえるたくさんの笑い声。家族連れやカップルでにぎわう駅前。夕暮れ時の美しい夕日と、街の情景。そのどれもが、とてつもなくありがたいことに思え、そんな日常が戻ってきた嬉しさに、少しだけ目頭が熱くなりました。今年の4月以降は、これまで中止されていたお祭りやイベントも、ひとつひとつ状況を注視しながらにはなりますが、前向きに進めていくこととなります。大田区商連としても、これまで同様、国や東京都、大田区等と密に連携し、全力でバックアップをしていく所存です。

最後になりますが、会員の皆様のご多幸と、益々のご発展を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしく願いいたします。

大田区商店街連合会 会長

大田区商店街振興組合連合会 理事長

北見 公秀

